

## リレー随筆

## 私の趣味、「御朱印」集め（とグルメの話）

医療法人賛信会 川内まきのせ泌尿器・腎クリニック

出口 央晋

みなさんこんにちは。川内まきのせ泌尿器・腎クリニックの出口 央晋（でぐちひろゆき）です。

今回は、私の趣味である「御朱印」集めについてお話しします。

最近の神社ブームにより、御朱印を集める女性が増えているようです。「御朱印ガール」と言われているようです。ところで、「御朱印」というものですが、みなさんご存じでしょうか。もしかしたら聞いたことがある方もいらっしゃると思います。神社を巡った際、参拝者向けにいただける押印のことです。観光地の記念スタンプをイメージしてみてください。簡単に言えば、その記念スタンプの神社バージョンです。神社ごとにデザインが異なっており、また季節限定の御朱印や、特別なイベントのときの御朱印もあります。まさに、コレクター魂がゆさぶられますね。ただ、本来は記念スタンプと御朱印は違うようです。本来御朱印は、神社に参拝を行い神様と念が通じ、ご神威をいただいた証としていただけるようです。もともとの起源は、寺社へ写経を納めた際の受付印であったようです。今では意味合いが薄れており、このように御朱印集めをスタンプラリーのように行うことについて批判の声があるようです。神社を訪れたときは御朱印をいただくのみでなく、ちゃんとお参りしてから御朱印をいただくのは最低限のマナーですね。

私が御朱印について初めて知ったのは、新婚旅行のときでした。新婚旅行は北海道に行きましたが、妻のリクエストにより稚

内市を訪れました。稚内は北海道最北端で、宗谷岬があるところです。レンタカーを借りて、稚内市内にある「北門神社」に行きました。ここは日本最北端の神社で、御朱印コレクター界（？）の中では知る人ぞ知る神社です。そのときは「御朱印っていうのがあるんだ、ふーん。ここまでわざわざ御朱印をもらいにいく人がいるんだ。」くらいにしか思っていなかったのですが、御朱印集めにハマっている今となってみては、あのときに御朱印をもらっておけば良かった、と後悔しています……。

コロナ禍になる前は、学会出張のたびにそのご当地の神社を訪れて御朱印をいただくことが楽しみになっていました。例えば新潟で学会があったときは、佐渡島まで高速船でわたってレンタカーを借りて、渡津（わたつ）神社というところまで御朱印をもらいに行ったこともありました。安心してください、ちゃんと学会出席して勉強しましたよ！ 妻からは「わざわざよくやるわ」と言われ、褒められたのか呆れられたのか、よくわからない反応でした。なぜわざわざこの神社に御朱印をいただきに行ったのか、もちろん理由があります。この渡津神社、じつは佐渡の国の「一宮（いちのみや）」なのです。この一宮、一之宮とも記載されますが、神社の社格を示す格式のひとつです。昔は、各地域を一つの「国（くに）」と呼んでいて、その各国の中で最も格式の高い神社のことを、一宮と呼んでいました。昔々、大和勢力が天皇を中心とする中央政権国家をつくるまでは各地の国造（くにの

みやつこ)などの地方豪族がその地方を統治していました。645年の大化改新によって、大和朝廷は中央官吏を地方に派遣し直轄の統治を目指したのです。県知事のような役目、現在の地方自治のような感じですね。朝廷は地方の単位として「国」を定めました。鹿児島県であれば、薩摩国・大隅国ですね。その国の一番格式高い神社を「一宮」と定めたのが由来とされています(諸説あります)。なかなか新潟に行く機会はないので、「この機会に佐渡行って御朱印もらっちゃおう♪」と思った次第でした。ただ何度もしつこいですが、ちゃんと学会出席して発表しました!! ちなみに、私の現在の勤務先近くにある新田神社は、薩摩国の一宮神社だそうです。この新田神社は、天孫降臨で知られている天照大御神、その孫の瓊瓊杵尊(ニニギノミコト)の陵と伝えられています。また、新田神社は桜がとても綺麗です。ぜひ桜の時期には川内まで足を運んでください(このお話が掲載される頃がちょうどいい時季だと思います)。

特にご紹介させていただきたい御朱印が3つありますので、挙げさせていただきます。

まず1つめは、会津若松市の「飯盛山」でいただいた御朱印です。以前、東北を旅行した際に会津若松市に行ってみて、飯盛山というところを訪れました。飯盛山は戊辰戦争のとき、会津の白虎隊が集団自決した場所ですので、厳密には神社ではありませんが白虎隊が眠る墓があります。その墓を管理する墓守の方が御朱印を書かれるのですが、その御朱印をいただきました。墓守さんがお書きになる御朱印ですが、その御朱印の芸術性に驚きました。ご本人さんが一つ一つ丁寧に手書きされており、とても美しい御朱印です。そもそも、なぜ会津若松市に行ったか、ですが、私はラーメン

がとても大好きなのです! 喜多方ラーメンで有名な「坂内(ばんない)」というラーメン屋さんに行ってみたく、「じゃあついでに会津若松城や飯盛山に行ってみよう」って思ったのがきっかけでした。ただ……私が行ったときは、たまたま坂内がお休みの日(祝日の振替休日)で、とっても残念でした。別のお店の喜多方ラーメンを堪能できましたが、また次回リベンジしてみます。ちなみに、会津若松城の御朱印?もいただきました。お城の場合は「御城印」ともいわれるようです。



会津若松市の飯盛山でいただいた御朱印

2つめは、京都府宇治市にある「宇治上神社」の御朱印です。この神社は、世界文化遺産にも指定されています。10円玉に描かれている平等院鳳凰堂から近く、徒歩10分くらいのところにあります。この神社の御朱印はとても美しいです。それぞれの季節に合わせた限定の御朱印もあります。限定のものを集めるのも楽しいですね。ただ、1日に頒布される枚数は決まっているようで、午後に行ったら無くなっていたということもあったようです。ちなみに、その季節限定の御朱印ですが、具体的にいつから出す、という明確な基準はないようです。宇治上神社の宮司さんが、季節の変化を感じ取ったときが季節の変わり目らしく、そのときに季節限定の御朱印が変わるようです。面白い基準ですね! 私はこの季節限



定の御朱印が欲しくて、数回この神社まで足を運びました。季節限定の御朱印を全種類制覇した後はまだ訪れていませんが、久しぶりに行ってみたいとなりました。



#### 宇治上神社でいただいた季節限定の御朱印

3つめは、千葉県野田市にある「櫻木神社」の御朱印です。この櫻木神社は、神社の名前の由来となっている通り、桜の名所です。この神社は、1000年以上の歴史があるようです。境内には約30種、約400本の桜が植えられているそうです。例年3月には「さくらの日まいり」が開催されます。私は3月に訪れましたが、桜が満開でとても綺麗でした。ちょうどさくらの日まいりが開催されている時期でした。その期間限定でいただける御朱印がありましたので、いただきました。桜の花びらをモチーフにした、かわいらしい御朱印です。こちらの神社では、御朱印1枚あたり「さくらシール」というものを1枚いただけます。桜の木の絵のついた御朱印をよく見ると、桜の木の中にカタカナの文字が書かれ

た桜の花があります。サクラサクラサクラサイタの全部で12箇所です。さくらシールは、この文字の書かれた桜の上に貼っていきます。12箇所全部にさくらシールが貼られると、満願成就ということで、非売品の御朱印帳がいただけます！ 御朱印をいただける楽しみが増えますね！

ちなみに、こちらの神社は醤油や豆乳飲料でおなじみの「キッコーマン」の本社から近いところにあります。



櫻木神社でいただいた御朱印と御朱印帳

他にもいろいろな御朱印があります。出雲大社にも行ったことがあります。そのとき御朱印をいただきました。これはシンプルなデザインでした。徳川家康が祀られている日光東照宮の御朱印もあります。日光東照宮には2種類の御朱印があり、「日光東照宮」の御朱印と、「日光東照宮奥宮」の御朱印があります。奥宮は、家康公のご遺体が安置されている墓のことで、日光東照宮の奥のほうにあります。ところで御朱印とは全く関係ない話ですが、この日光東照宮に行くときに某芸能人のロケに遭遇しました！ 後日テレビを見てみましたが、ほんの少しだけ映っていました。ほんの少し、です。またさらに関係ない話ですが、日光東照宮に行く途中に、宇都宮餃子を食べに行きました。「ぎょうざ専門店 正嗣（まさし）」というお店です。餃子専門店で、メニューは焼き餃子と水餃子の2種類のみ！ ラーメンやチャーハンなどはありません。ライスもありません。値段は一皿6個入り280円と、かなりリーズナブル

な価格となっています。私は焼き餃子2皿、水餃子1皿食べましたが、野菜たっぷりでペロリと平らげました。ただ、先ほど書きましたように餃子専門店、餃子以外は全くありません。そうです、アルコールもないお店です。餃子とビールは最高の組み合わせなのですが、こちらのお店ではそれができないのがとても残念です。ただ、幸いなことにこちらのお店は餃子の通販もやっております。後日、通販で冷凍餃子を取り寄せました。念願の餃子とビールの組み合わせ、やっと楽しめました！ この組み合わせは最高です（笑）。

コロナ禍真っ只中のときは、なかなか外出できませんでしたが、ぼちぼち御朱印集めを再開しようと思います。（まずは稚内に行ってみようかな……）。

御朱印集めをされている先生方、オススメの御朱印をぜひ教えてください。

次号は、鹿児島市立病院 消化器内科／伊集院 翔先生のご執筆です。  
(編集委員会)

